

はじめに

大阪歴史博物館では、館蔵資料の活用・公開をひとつの柱として、さまざまな調査研究に取り組んでまいりました。特に共同研究事業は、外部研究者の方々と交え、より広い観点から博物館所蔵資料の価値を高めるべく実施し、その成果を広く市民や研究者に公開しています。

本報告書では、平成 28 年度に実施した共同研究「中村順平のスケッチブックと図面類の画題・作画時期解明に関する研究」の成果を報告します。中村順平は、大阪出身の建築家で、日本人として初めてパリの美術学校エコール・デ・ボザール建築セクションに学び、フランス政府公認建築士となったことで知られています。平成 18 年度に中村順平の弟子たちの集まりである檜の会（代表：松本陽一氏）より、建築家・中村順平資料の寄贈を受けたことをきっかけとして、各関係者より中村順平の資料が寄贈されてきました。本報告書では、建築家・中村順平資料群のうち、内容が未解明なスケッチブックや図面類に焦点をあて、外部研究者を交えて研究を行った成果を報告するものです。本書が広く活用され、大阪の歴史と文化、建築に対する研究の進展に寄与することができましたら幸甚です。

末尾になりましたが、各寄贈者および本研究の推進にあたりまして、ご協力いただきました関係各位に、あらためて厚く御礼を申し上げます。

平成 30 年 3 月

大阪歴史博物館